

第1期

2024年度事業報告書

2024年（令和6年）5月1日 ～ 2025年（令和7年）3月31日

ワールド・イン・ピース

1. 本年度の事業成果

2024年度は、国内外で発生した災害や人道危機に対し、迅速かつ柔軟な対応を行い、多様な支援活動を展開しました。

(1) 国内二重災害への対応

石川県能登半島地震・豪雨災害への支援活動を継続 能登半島地震に加え、同年9月に発生した豪雨災害においても、現地団体と連携して物資支援を実施。非常用トイレ1,800回分や体拭きタオル720枚を被災地に届け、断水地域の衛生環境維持に貢献しました。また、コミュニティ支援として、マジックショーやマッサージ、ワークショップなどのイベントを支援し、被災者の心のケアにも取り組みました。

(2) フェアトレードを通じた啓発活動の強化

「SOISインターナショナルフェア2024」では、フェアトレード商品の販売を通じ、来場者約186名に対し、国際協力の重要性や支援先地域の課題についての理解を深める機会を提供。多世代のボランティアが参加し、活動の裾野を広げました。

(3) アフガニスタンにおける学校衛生と医療支援の基盤づくり

ロガール州の学校でのトイレ新設計画や、地域クリニックへの医療機器提供を視野に入れた支援を進め、2024年度は現地アセスメントおよび支援調整を完了。2025年度の本格的な実施に向けた体制構築を行いました。

災害支援

石川県能登地方豪雨災害	プログラム名	能登半島豪雨 緊急支援活動	
	活動期間	2024年9月26日 ～ 継続中	
【事業概要】			
2024年1月1日、に発生した令和6年能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県奥能登地域に同年の9月21日に、線状降水帯が発生し、豪雨に見舞われ二重災害になる事態となった。激しい雨が短時間に集中的に降り、輪島、珠洲市、能登町などの一部地域では、気象庁の定める5段階のうち最もレベルの高い「大雨特別警報：レベル5」が発令された。一部河川では、氾濫による仮設住宅を含む家屋の浸水等が報告され、土砂災害も発生しました。 これに伴い、ワールド・イン・ピースでは現地の団体と連携し物資支援を実施しました。元旦の能登半島地震で復旧作業が続いている中、今回の豪雨により再び断水などの被害が発生し、現地の衛生環境を支えるため、計1800回分の非常用トイレをお届けしました。また、断水地域のニーズに応え、「体拭きタオル」720枚を連携団体「カリタスのと」様を通じて輪島近郊の深見地区にもお届けしました。 また、特定非営利活動法人CONCENT様を通じて、現地におけるコミュニティー支援を実施しました。マジックショー、マッサージ、パラコードワークショップなど幅広い年齢層を対象としたイベントにおける飲み物、お菓子等の運営費用に活用させていただいております。			
実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
令和6年能登半島豪雨によって被災した地域（石川県）	2名	被災者及び物資を受け取った方々 約284名	134,004

岩手県大船渡市 山火事	プログラム名	岩手県大船渡市山火事被災者支援活動	
	活動期間	2 0 2 5 年 3 月 2 日 ～ 継続中	
【事業概要】 2 0 2 5 年 2 月 2 6 日に岩手県大船渡市で発生した山林火災は、およそ焼失面積は市の面積の約9%にあたる約2900ヘクタールを超えたとともに、1 0 2 棟以上の家屋が焼失しました。（朝日新聞）避難所は過密状態となっており、長期的な避難生活を強いられる方々への支援が急務です。当団体は、現地の支援団体「絆プロジェクト三陸」と連携し、当日以降情報共有等を通じて中長期的な支援計画を定めているところです。現地では、物的ニーズは足りているため、当団体では、長期的な復興・コミュニティー活動を行う予定です。また、今回初の試みとして、箕面地域の店舗・歯科クリニックのご協力のもと募金箱を設置し、寄付を募りました。			
実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
岩手県大船渡市山火事によって影響を受けた地域（岩手県）	3 名	被災者及び物資を受け取った方々 約1 8 2 名	1 8, 2 4 5

医療・衛生支援

アフガニスタン公衆衛生向上事業	プログラム名	アフガニスタン 学校施設でのトイレ環境の整備		
	活動期間	2024年6月2日		
【事業概要】				
アフガニスタンでは、長年にわたる紛争や政治的混乱により、医療インフラの崩壊や衛生環境の悪化が深刻な課題となっています。特に農村部では、医療機関の数が不足し、適切な診療を受けることが難しい状況が続いています。また、学校施設も老朽化が進み、衛生環境が整っていないため、多くの子どもたちが健康リスクを抱えながら学ばなければならない現状にあります。当団体は現地支援団体「EJAAD」と連携し、学校のトイレ整備と医療施設への支援を進めています。ロガール州ヘサラク村の学校では、約600名の生徒が在籍しているにもかかわらず、トイレの数が不足し、既存の施設も老朽化が進んでいました。そこで、トイレ6基の新設と既存設備の修繕を行い、子どもたちが衛生的な環境で学べるよう整備を進めています。また、単なる設備整備にとどまらず、衛生意識の向上を目的とした教育プログラムを実施し、清潔な環境を維持するための知識や習慣を地域に根付かせることを目指しています。 さらに、医療支援では、農村地域の医療格差を改善するため、Dr. Roshan’s Clinic for Children および Hesarak Clinic for Women への医療機器の提供と診療体制の強化を行っています。貧困層の多くは、高額な医療費や移動費を負担できず、必要な医療を受けることができない状況にあります。そのため、診療の質を向上させるために、超音波検査機器やCBCマシンの導入を支援し、医療従事者のトレーニングを行うことで、地域住民がより迅速かつ適切な医療を受けられる体制を整えています。 この支援活動を通じて、地域の衛生環境と医療アクセスの改善を図り、持続可能な公衆衛生の向上を実現することを目指しています。学校の環境整備によって次世代の子どもたちに衛生意識を根付かせるとともに、医療機関の支援を通じて、長期的に地域全体の健康と安全を守ることを目指しています。				
実施場所		従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
ロガール州ヘサラク村の高校、Dr. Roshan's Clinic for ChildrenまたはHesarak Clinic for Women		7名	事業未実施※	

※今年度は支援アセスメント・調整で完了したため、事業は未実施

難民支援

パレスチナ・ガザ地区人道支援	プログラム名	パレスチナ・ガザ地区 子供支援
	活動期間	2024年12月14日 ～ 継続中
【事業概要】		
2023年10月7日にイスラエル軍がガザ地区への攻撃を開始してから1年が経過し、ガザ地区では深刻な人道危機が続い		

ています。こうした状況の中、住民は食料、水、医薬品の確保に奔走しながら、過酷な生活を強いられています。医療施設の壊滅的な被害により、感染症の拡大や健康リスクも深刻化しており、支援の必要性は極めて高まっています。一方で、武力衝突の影響はイスラエル側の市民にも及び、依然として人質問題が続くなど、双方の一般市民が困難な状況に直面しています。 この危機的状況に対し、多くの人道支援団体が活動が続ける中、ワールド・イン・ピースも現地の団体と連携を通じて支援活動を展開することを決定しました。本事業の第一段階では、ガザ地区の子どもたちを対象に、心理ケアおよびレクリエーション活動を通じた心理的サポートを実施します。紛争の影響を受けた子どもたちの心のケアを優先し、安心できる環境を提供することで、長期的な精神的回復を支援することを目的としています。			
実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
事業未実施			

子供支援

カンボジア 学習支援	プログラム名	カンボジア 学習材支援事業
	活動期間	2025年3月27日 ～ 継続中
【事業概要】 2024年度、ワールド・イン・ピースは、カンボジアにおける教育支援活動を実施しました。本事業は、現地で活動されているNathan Kou氏およびそのチームの多大なるご協力のもと、以下2か所の教育施設を対象として行いました。 ① ダムナック・チャン・アウル村 コミュニティー幼稚園への支援 ダムナック・チャン・アウル村に所在するコミュニティー幼稚園では、18名の児童に対して学習用品を詰めたバッグパックを配布しました。（内容：（ノート、ペン、鉛筆、色鉛筆、水筒、ホワイトボード、マーカー、鉛筆箱等）また、教育環境の質を向上させるため、教室内への照明および扇風機の設置を行いました。さらに、教職員の教育スキル向上を目的とした研修の実施に加え、日々の教育活動を継続的に支えるための現金給付支援も併せて実施しました。 ② コーポーアン島 加えて、カンボジア沖合に位置するコーポーアン島においても支援活動を行いました。この島には、漁業やエコツーリズムを生業とする住民が暮らしており、5歳から15歳の児童27名が通う唯一の小規模学校が存在しています。この学校では、十分な教育設備や教材が整っていない中で、教員が自身の限られた知識を活かし、子どもたちの学びを支えています。今回の支援では、島の児童に対しても、ダムナック・チャン・アウル村と同様の学習教材入りバッグパックの配布を行いました。 本事業は、ワールド・イン・ピース単独での実施ではなく、複数の支援者の皆様のご協力により実現したものです。		

実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
ダムナック・チャン・アウル村	2 名	在校生 4 3 名	1 0 3, 4 9 6

イベント・啓発活動

フェアトレード商品販売	プログラム名	SOISインターナショナルフェア2024	
	活動期間	2024年11月16日(土)	
【事業概要】 2024年11月16日に開催されたインターナショナルフェアにおいて、ワールド・イン・ピースはフェアトレード商品の販売を通じて、国際人道支援の重要性を広く伝える活動を行いました。支援地域で生産されたフェアトレード商品の魅力やその背景を知っていただく機会となるよう、トニーズチョコロンリー・国分グループ様、わかちあいプロジェクト様、第3世界ショップ様のご協力のもと、紅茶、チョコレート、コーヒーなどの多彩な商品を取り揃えました。当日は、多くの方々にご来場いただき、準備した全商品が完売するほどの大きな反響をいただきました。10名を超えるボランティアスタッフが参加し、子どもから大人まで幅広い年代の方々と交流しながら、フェアトレードがもたらす社会的意義や、ワールド・イン・ピースが目指す未来について直接お伝えする貴重な機会となりました。			
実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（円）
関西学院千里国際キャンパス	18名	イベント来場客 不特定多数	53,761

受益者人数に関する注記：受益者人数は、提供された物資や支援活動の内容を基に測定されていますが、その数値には誤差が含まれる可能性があります。

会計報告

2024年度の総収入は727,907円となり、活動資金として多くのご支援をいただきました。主な収益源は一般寄付金収入（538,416円）であり、特定の支援目的に指定された寄付金（15,008円）、物品や現物での寄付（8,843円）、その他の収入（22,040円）、およびフェアトレード事業等を通じた収入（143,600円）が続きました。一般寄付金は用途の指定がないことから、幅広い事業において活用することができました。

一方、総支出は466,129円となり、国内外での支援活動や運営に充てられました。国内における事業の支出は全体の47.8%を占めており、石川県能登地方豪雨災害支援（148,948円）、岩手県大船渡市の山火事（18,245円）、フェアトレード事業（55,490円）などが含まれます。これに対し、カンボジアでの学習支援事業をはじめとする国外事業への支出は全体の22.2%を占め、国際的な支援活動にも力を入れています。また、団体を運営する上に必要な管理費用、広報啓発活動（57,375円）、事務局運営費（28,965円）、その他の支出（53,610円）も計上されました。

詳しくは、会計報告関連書類をご覧ください